

経営後継者研修だより

CONTENTS

ゼミナール専門研究と自社リスクマネジメント分析の成果発表を行いました。

4月4日に10月から準備を進めてきたゼミナール専門研究（以下、専門研究）の成果発表を行いました。専門研究は、研修生の知見を広げ、自社経営のヒントとするため、ゼミ講師の支援を受けながら研修生がゼミの専門分野に基づき自主的にテーマを設定し、主体的に調査分析を進めます。約6ヶ月間の研究期間中は、必要な情報を得るために校内での机上調査だけではなく、現場・現物・現実を知るために、企業・団体へのインタビューや仮説検証のための実験等、実地調査も行いました。各ゼミの研究テーマは、「中小企業がAI時代になすべきこと（坂本ゼミ）」「チームマネジメント～雰囲気とモチベーションの重要性（小林ゼミ）」「妻を会社に入れるべきかどうか（大島ゼミ）」「EC業界の分析から学ぶ中小企業の生存戦略（津村ゼミ）」となり、様々な角度から企業経営のあり方について研究しました。また、成果発表ではデモンストレーションや動画、効果音等を用いて聴衆に伝わりやすい工夫がなされており、専門研究で得られた気づきやヒントを全員で共有できました。

お忙しい中、ご協力賜りました企業・団体・個人の方々に厚く御礼申し上げます。

4月12日には、自社リスクマネジメント分析の成果発表を行いました。担当講師は、リスクマネジメント分野で、早くから第一線で活躍している浅野 睦講師（フォーサイト・コンサルティング株式会社 代表取

締役社長）です。自社を取り巻く内部・外部の顕在・潜在リスクを特定・分析・評価、リスクマップで表現して「見える化」しました。次に、影響度や発生可能性が高いリスクへの対策を検討します。この分析を通じて、分析内容はもとより、リスク管理は経営者や管理者の最も重要な仕事のひとつであることを学びました。



上：専門研究の発表会の風景。各ゼミの努力の成果が見えました。

下：リスクマネジメント分析発表は講堂で実施しました。

第39期生広報委員に専門研究・リスクマネジメント分析についての気づきを伺いました。

専門研究では、普段の講義とは違う切り口において企業経営を分析しました。これによって新しい発見や普段何気なく感じていることに対して意味付けを行えるなど非常に有意義な研究となりました。自社への持ち帰りと言う部分にも焦点を当て、自身の知識だけでなく自社の経営に活かすという側面でも知見を得ることができました。リスクマネジメント分析では、リスクマップの見える化によって対策の必要性が高いリスクを洗い出しました。この部分において解決策を深掘りして分析を行うとともに、様々な業種におけるリスクマネジメントから自身が気づかなかった側面についても知ることができたのは大変有意義でありました。〔(株)田中組 田中 一成〕

INFORMATION

東京校 企業研修課からのお知らせ

◆川崎市、春日部市、平塚市で研修を開催いたします。

東京校に来られない方のため、地域の支援機関と連携し、厳選したテーマで研修を実施しています。

[詳細はこちら](#)